

テクノの未来を考えるニュースレター



Vol.

1

テクノの
未来を
考える

2026年6月

みんなで出し合った 意見をご紹介します!

現在、播磨科学公園都市の新たなあり方について、「まちづくりチーム」「都市フレームチーム」「イノベーションチーム」の3つのチームに分かれて検討を進めています。

令和8年5月12日には、「まちづくりチーム」の初回会議を開催しました。主なご意見は裏面に掲載していますので、ぜひご覧ください。

今後も3つのチーム会議の開催状況や意見交換の内容については、「チーム会議ニュース」として引き続きお知らせしていきます。

チーム会議 開催概要【まちづくりチーム(第1回)】

- 日 時: 令和8年5月12日(火曜日)
18時00分～19時30分
 - 場 所: 光都プラザ コミュニティスペース cotohana
 - 出席者数: 39名
 - ・まちづくりチームメンバー 24名
(有識者2名、行政職員11名、地域住民11名)
 - ・その他 15名
 - プログラム内容: 1.開会
2.概要説明
3.ワークショップ(意見交換)
4.意見の共有
5.閉会
- ・4班に分かれて意見交換を行い、「主な論点」を基に具体的な検討項目を整理しました。
- ・各班で話し合った内容を全体に向けて発表しました。

【まちづくりチームの主な論点】(令和7年度第3回あり方協議会資料より)

- ①日常生活(医療・福祉・買い物等)の基盤の確保
- ②くらしの安全(防災・防犯等)の確保
- ③公共交通機関等の交通利便性、持続可能なモビリティの確保
- ④住環境の質の確保(豊かな自然環境との調和、多様な世代への配慮等)
- ⑤働く場・環境の確保
- ⑥多様な人がつながるコミュニティの形成
- ⑦質の高い教育環境の確保
- ⑧学生・研究者にとって魅力あるまちづくり
- ⑨研究機関×大学×企業×地域による新たな学び・交流の創出
- ⑩住民・学生・研究者等多様な人が交流する機会・場(空間)の創出
- ⑪都市ブランドや魅力の創出・発信、シビックプライドの醸成
- ⑫既存施設、未利用地、遊休施設等の有効活用
- ⑬若者等の定住・雇用環境の整備
- ⑭自然、都市の魅力を活かしたまちの魅力づくり、イベントの展開



意見交換の様子



発表の様子

主な意見



その他、全ての意見
はこちら！

参加者

- 個別のテーマごとではなく、光都のまちづくり全体の基本理念から考え始めるべきではないか
- 住民の意見を発信・共有する投稿サイトのような、芯のある議論を深められる意見交換の場が必要
- 長期的なビジョンとしては、「安心・安全」「科学だけにとどまらない価値」「文化を拓くまち」などの方向性を示すキーワードが考えられる
- コンセプトとしては、「テクノ市」、「持続可能なまちの実現」が考えられる
- コンセプトを考える上で、「社会を作っているのは私たち自身である」という当事者意識を持つことや子ども、若者を中心に考える視点が重要
- 「老後や病気になった後も安心して暮らし続けられるまち」という方向性がよいのでは
- 学校教育に加え、趣味の集まりや地域コミュニティ、公民館的な活動と連携した学びの場があると良いのではないか
- 互助による買い物支援など、住民主体の活動を通じて、暮らしや生活環境の充実を図る方向性が望ましいのではないか
- 周辺地域での働く場の創出や学区外からの児童・生徒の受け入れ等を通じて、テクノを利便性向上を支える拠点として位置づける必要がある
- 既存施設や豊かな自然を活かしたテクノの魅力発信を通して、シビックプライドや都市ブランドの醸成、人が集まるまちづくりを目指すべき
- 有名建築家による建造物やインフラなど、既存ストックを活かしながら、新たな魅力形成につなげていくことが望ましいのではないか
- 相生・上郡・姫路からの交通手段の確保や播磨道の充実など、テクノ外へのアクセス手段を確保すべき
- テクノの住まいの環境を考える上で、交通手段は重要（他市の取り組みを参考にしてもよいのでは）

有識者（コーディネーター）

- 自分事として捉えた多様な意見が出ており、非常に良かった
- 理念や目標は、皆で議論を重ねながら作り上げていく中で形づくられていくものであり、このような話し合いの場から生まれる理念こそ、多くの人に共有されるものになり得る
- テクノの魅力を皆で掘り下げながら、「このまちならではの文化とは何か」を具体的に考えていくことが重要
- 交通の不便さを解消するための実証実験を行うなど、「新たな取組に挑戦できる場所として、住民が協力するまちである」というコンセプトは、企業を呼び込む魅力にもつながる
- さまざまなコンセプトやアイデアが出されたことは、それだけまちに対する関心や期待が大きいことの表れであり、今後も幅広く多様な意見をまちづくりに活かしていくための工夫を進めていきたい

チーム会議はスタートしたばかりです。今後もワークショップ等の意見交換の機会を予定しています。テクノの未来を、一緒に考えていきましょう！



播磨科学公園都市の新たなあり方
検討協議会マネジメント会議
【事務局】兵庫県企業庁 地域整備振興課
【電話番号】078-362-3850
【E-mail】chiikiseibi@pref.hyogo.lg.jp

テクノのあり方検討
についての詳細情
報はこちらをご
覧ください
(兵庫県企業庁HP)

